

消化器内科 研修で経験が望ましい項目 (minimum requirement)

	シミュレーター	日付	回数
A	内視鏡のシミュレーターを行う		
A	腹部エコーのシミュレーターを行う		
	<b>手技</b>		
A	上部内視鏡検査の見学を行う		
A	上部内視鏡検査の介助を行う		
A	指導医の監督下において上部内視鏡検査の一部を施行する		
B	指導医の監督下において上部内視鏡検査を一通り施行する		
C	指導医の監督下において上部内視鏡下鉗子生検を行う		
A	下部内視鏡検査の見学を行う		
A	下部内視鏡検査の介助を行う		
C	指導医の監督下において下部内視鏡検査の一部を施行する		
A	ERCP 関連内視鏡検査の見学を行う		
B	ERCP 関連内視鏡検査の介助を行う		
A	超音波内視鏡検査の見学を行う		
A	小腸内視鏡検査の見学を行う		
A	内視鏡下手術 (ESD・EMR) の介助を行う		
A	腹部エコー検査の見学を行う		
A	指導医の監督下において担当患者の腹部エコー検査を行う		
A	エコー下穿刺術の見学を行う		
A	腹部血管造影検査の見学を行う		
A	腹部血管造影検査の介助を行う		
B	腹部血管造影検査の助手を行う	日付	回数
A	緊急内視鏡検査 (出血・異物) の見学を行う		
A	緊急内視鏡検査 (出血・異物) の介助を行う		
A	肝生検の介助を行う		
A	腹水穿刺を実施する		
	<b>病棟</b>		

A	検査・手術の説明に立ち会う	日付	回数
A	病状説明（悪性疾患）に立ちあう		
C	指導医の監督下において検査の説明を行う		
A	緊急入院の症例を指導医と一緒に担当する		
A	臨床チームカンファレンスでの症例提示を行う		
A	教授回診にて症例提示を行う		
A	カンサーボードに出席する		
A	内視鏡検討会・腹部アンギオ検討会に参加する		
A	研修終了時に担当症例の総括を行う		
	<b>外来</b>		
A	消化器内科外来を見学する		
A	消化器内科外来の予診を行う		
A	指導医の救急外来での診察を見学する		
	<b>症例</b>		
A	緊急内視鏡を要する消化管出血の患者を担当する		
A	内視鏡手術（EMR、ESD）の症例を担当する		
A	ERCP 関連手技（結石、腫瘍）の症例を担当する		
A	肝不全の症例を担当する		
A	肝癌の症例を担当する		
A	急性肝炎の症例を担当する		
A	炎症性腸疾患（UC、クローン病）の症例を担当する		
A	食道もしくは胃静脈瘤の症例を担当する		

- A 4週で経験することが望ましい
- B 8週で経験することが望ましい
- C 12週で経験することが望ましい